

提供日 2019/9/11

タイトル グランシップ伝統普及プログラム「狂言ワークショップ」

担当 公益財団法人静岡県文化財団 事業課

連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団


記者提供資料

「グランシップ伝統芸能普及プログラム」  
浜松市立北浜南小学校で「狂言ワークショップ」を開催します  
～6年生が一流の狂言師による授業と実演で伝統芸能を学びます～

## 1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、平成23年度より「伝統芸能普及プログラム」を実施し、市町の文化施設や教育機関と連携して、伝統芸能がもつ魅力や特徴などを多角的に紹介しています。今回は、小学校の国語の教科書で扱われている狂言を題材に、一流の狂言師による授業と実演を披露します。教科書や映像だけでなく、実際に触れてみる事で、日本の伝統芸能についてより親しみやすく理解できる貴重な機会です。

## 2 概要

区分	内容
公演名	グランシップ伝統芸能普及プログラム 狂言ワークショップ
日時	2019年9月30日(月) 13:45～15:15
会場	浜松市立北浜南小学校 教室及び体育館(浜松市浜北区寺島3010)
参加者	浜松市立北浜南小学校 6年生(2クラス)63名 他教員、父兄
講師	 <p>三宅右矩(みやけ すけのり 和泉流狂言方) 1983年東京都生まれ。1987年「靱猿」で初舞台。 父は三宅右近(重要指定無形文化財総合指定)、 祖父は三宅藤十郎(人間国宝)。 *他 三宅近成、金田弘明</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>各クラスで能や狂言の基本的な説明、使用している教科書に掲載されている「柿山伏」の説明(13:45～14:40)</li><li>体育館にて狂言の特徴的なセリフやしぐさの説明(14:40～15:25) 演目や小道具の説明、動物の鳴き声体験 狂言「<sup>ぼうしば</sup>棒縛り」の実演</li></ul>
本プログラムの目的・特徴	グランシップで継続している <u>伝統芸能公演を単なる興行的公演で終わらず、地域と連携したプログラムとして構成</u> しています。また、各地で開催されているアウトリーチ事業は決まったものを様々な場所で同じように公演することが多く見られますが、本事業は各地域や機関の実情に合わせ、内容や出演者を個別に選定しています。狂言という芸術だけでなく、“狂言師”という演者・芸術家の、人としての魅力にも触れることができます。国語の教科書に掲載されている狂言を、知識だけを教える授業にせず、実際に観ることで、より深く理解し、親しみを持つ機会とします。
主催	公益財団法人静岡県文化財団、静岡県

## 3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者:(公財)静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714 (担当:河合・渡邊)